

【当麻町】森林環境譲与税の使途（令和2年度：決算）

事業区分	事業名	事業総額（千円）			当年度 基金への 積立額 （千円）	事業内容	税導入の効果（実績）
		(A)+(B)	うち令和 2年度の 森林環境 譲与税 （千円） （A）	うち他 の財源 （千円） （B）			
意向調査の準備作業	森林経営管理事業	3,762	3,762	0		<p>対象地における「森林GIS」データを活用して、前年度行った樹種判読に続き、当該年度では土地傾斜や路網からの距離等による施業適否の判定を行ったほか、意向調査計画策定を行い、翌年度から開始する意向調査の事前準備をした。 対象面積241.73ha</p>	<p>【ワンフリーズ】 意向調査を進めるにあたって、森林の現況把握が必要なため、税活用により、森林情報管理システム（GIS）を活用して、対象森林241.73haの現況を解析することができた。 解析結果による客観的データを元に当事者に対して所有山林の状況を説明でき、その後の計画策定に繋げる土台作りが繋がった。 R3年度以降は、実際に意向調査に取り掛かり、調査結果に応じて順次森林整備等の事業に取り掛かる予定。また、同じくR3年度から民有林等の整備に対する補助事業を開始し、森林整備を更に促進する。</p>
その他（人材育成等）	上部団体等負担金	30	30	0		<p>次代を担う人材の育成を図るため、令和2年度より開校した「北の森づくり専門学院」を支援する、「北海道林業・木材産業人材育成支援協議会」に対して賛助金を支出した。</p>	<p>【詳細】 本町の森林面積は13,409haで行政区域面積の約65%を占めており、そのうち町有林は4,259ヘクタール、町有林を除く一般民有林（私有林）は2,753haある。 本町では、森林の有する多面的機能の持続的な発揮に向けて、これまで国や道の森林整備事業予算や町単独予算などにより森林の整備を進めてきたが、木材価格の低迷による森林所有者の経営意欲の低下や森林所有者の不在村化、相続による世代交代などから整備が行き届かない森林の増加が懸念されている。このため、本町では、国から譲与される森林環境譲与税を有効に活用して、基本方針に基づき、適切な森林の整備やその促進につながる取組を計画的かつ効果的に進める。</p>
基金積立（森林整備等）	森林環境整備基金管理事業	3,332	3,332	0	3,332	<p>「基金設立の目的」森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律第1条に規定する森林の整備及びその促進に関する施策に要する経費の財源に充てる資金。 R3より意向調査及び民有林等の整備に対する補助事業を開始するほか、意向調査結果に応じて森林整備等の事業に順次取り掛かる予定。</p>	<p>残額は、翌年度以降の森林整備等（意向調査・補助事業含む）に使用するため基金に積立した。</p>
合計		7,124	7,124	0	3,332		